

個人投資家向け会社説明会

2024年12月7日

フィンテック グローバル株式会社

(東京証券取引所 スタンダード市場 : 8789)

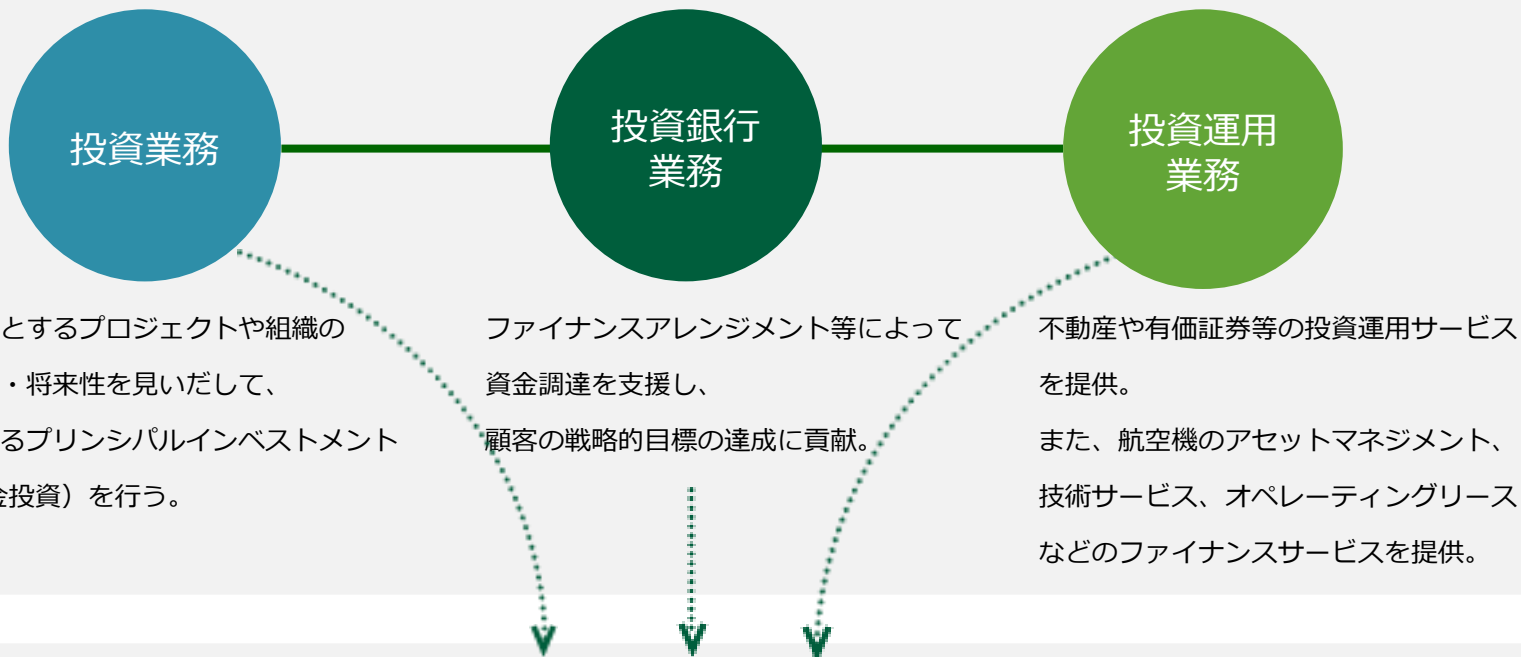
<https://www.fgi.co.jp/>

事業概要	P. 2
FGIの事業 これまでの歩み FGIグループ会社、事業セグメント	
業績、投資銀行事業	P. 6
業績推移 投融資残高 事業承継投資 預り資産残高	
公共コンサルティング事業	P.12
エンタテインメント・サービス事業	P.14
メッツァについて エンタテインメント・サービス事業の業績 ムーミンバレーパークの取り組み	
2025年9月期 業績見通し	P.19
ROE、株主還元	P.21
参考資料	P.25
連結財務諸表、経営指標、株価、会社概要	

事業概要

ファイナンスアレンジなどを提供する投資銀行業務から始まったFGIの業務は、多様な顧客ニーズにお応えするために投資業務、投資運用業務に広がりました。そして、これらのノウハウを活用した地域課題ソリューションを提供しています。

FGIグループの投資銀行事業



地域課題ソリューション

施設の開発・維持・更新のためのファイナンスアレンジや、地方公共団体の公会計・公共施設マネジメントなどコンサルティングにより、持続可能なまちづくりに貢献。

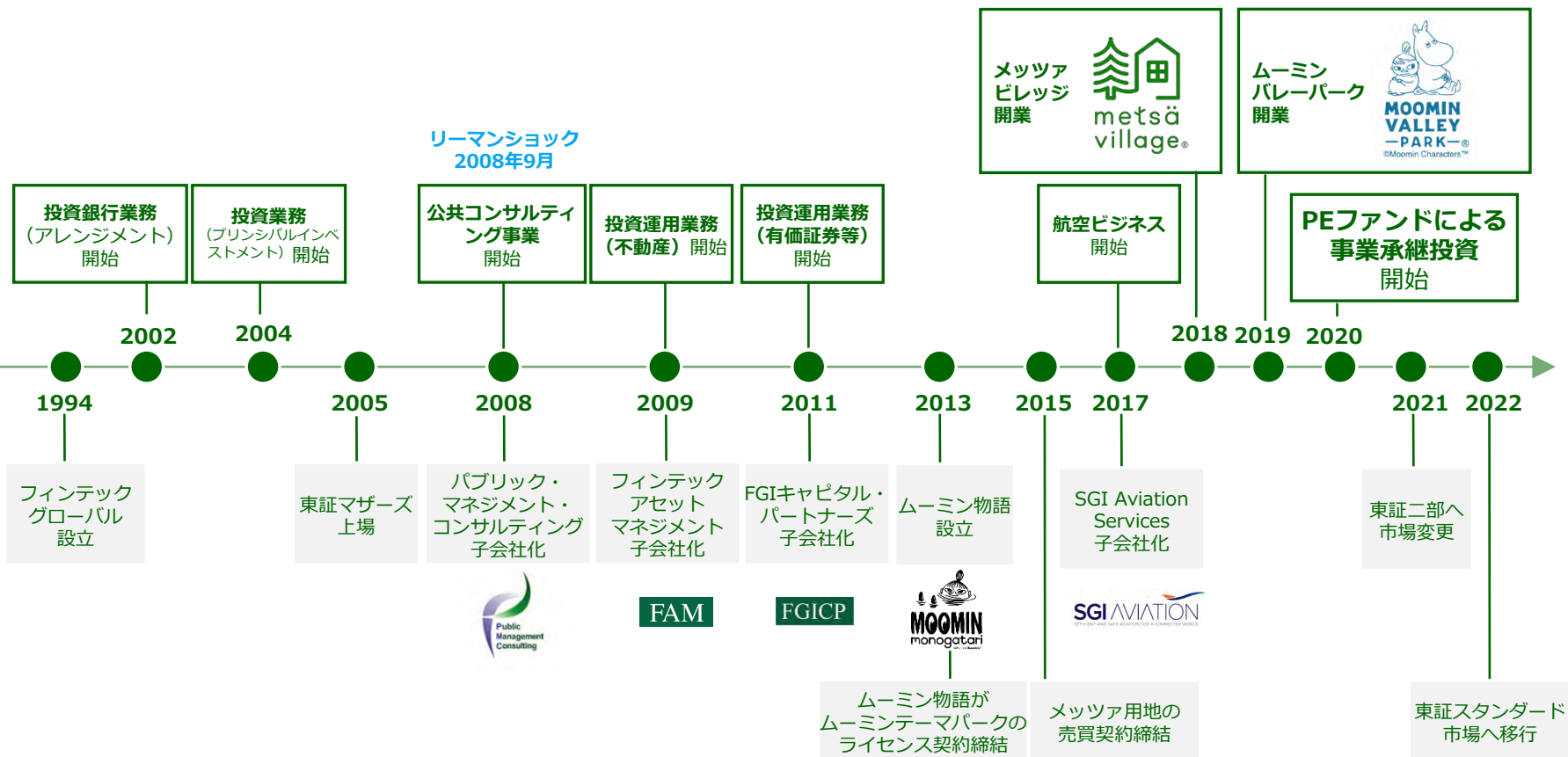
再生可能エネルギー導入支援や、魅力のある地域活性化の拠点づくりや運営の支援なども成長領域として開拓。

これまでの歩み

- 不動産証券化案件のアレンジで成長し、2005年東証マザーズに上場。組成案件への投融資を開始。
- リーマンショック後は、プライベートエクイティ投資や投資運用にも事業領域を拡大。
- 2018-19年から、埼玉県飯能市でムーミンのテーマパークや商業施設メツアビレッジを運営。
- 2020年から事業承継問題を抱えた企業への投資を開始。

事業・サービス

事業基盤



(一部連結子会社・関連会社を抜粋) (2024年9月末現在)

投資銀行事業

FGI

フィンテック グローバル(株)
投資、アレンジ
(9月決算)

公共コンサルティング 事業

エンタテインメント・ サービス事業

議決権等の
所有割合

50.1%

100%

100%

83.8%

34.0%

84.2%
(ファンド持分
を含む)

100%



(株)トリニティジャパン
リスク・ヘッジの手配支援
(6月決算)



aviner(株)
航空、エネルギー分野の
AM/事業投資
(9月決算)



フィンテック
アセットマネジメント(株)
不動産投資運用
(9月決算)



(株)パブリック・マネジメント
・コンサルティング
公会計/公共施設マネジメント支援
(9月決算)



(株)ムーミン物語
ムーミンバレーパーク運営
(3月決算)

53.6%

SGI-Aviation B.V.
持株会社
(6月決算)



FGIキャピタル・
パートナーズ(株)
有価証券等の運用
(9月決算)



(株)ジオプラン・ナムテック
インフラ・ユーティリティ等の
情報処理システムの計画、運営等
(6月決算)
(持分法適用関連会社)

飯能地域資源利活用
合同会社
ムーミンバレーパークの
不動産保有・賃貸
(6月決算)

100%



SGI-Aviation Services B.V.
航空機アセットマネジメント
(6月決算)



コネクotteック(株)
不動産開発、売買、仲介等
(9月決算)



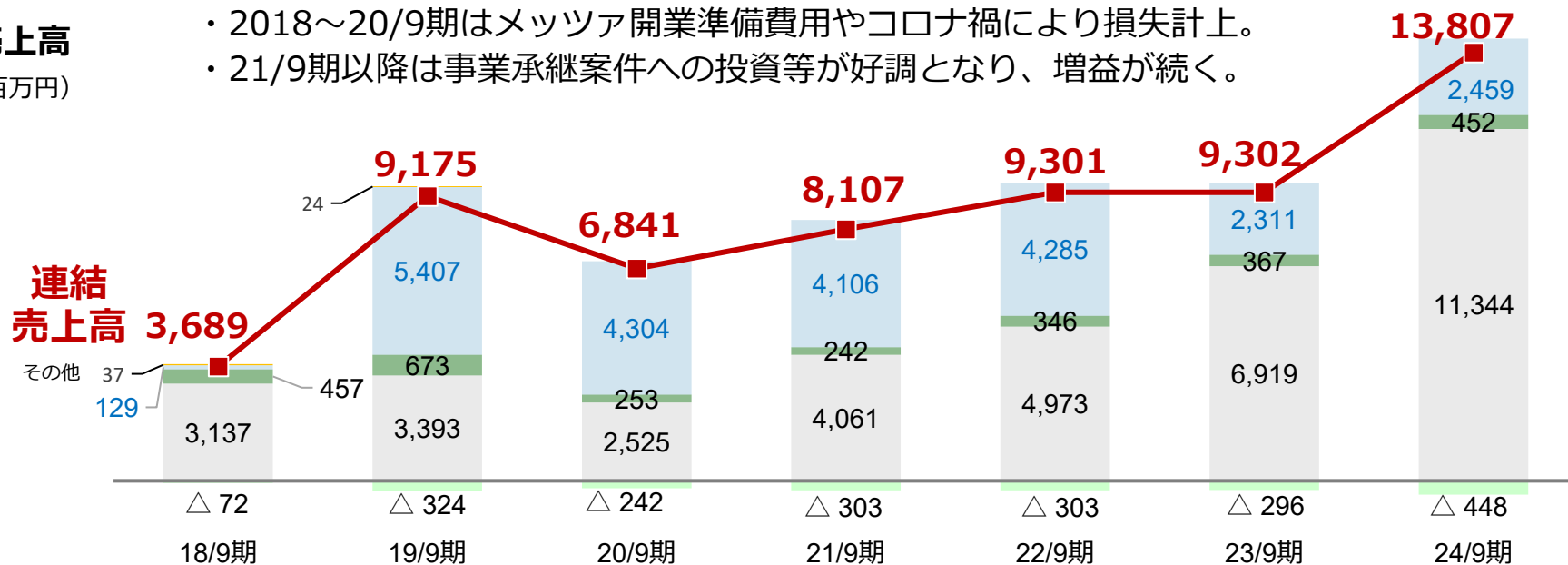
(株)メッツア
メッツアビレッジ運営
(9月決算)

業績、投資銀行事業

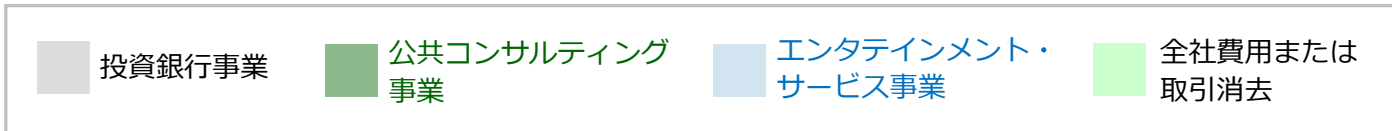
業績推移 – 投資銀行事業が業績牽引

売上高 (百万円)

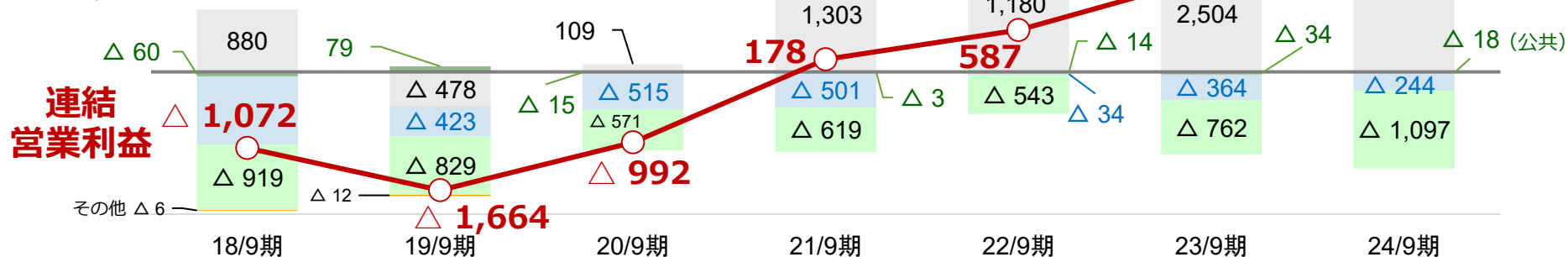
- ・ 2018～20/9期はメッツァ開業準備費用やコロナ禍により損失計上。
- ・ 21/9期以降は事業承継案件への投資等が好調となり、増益が続く。



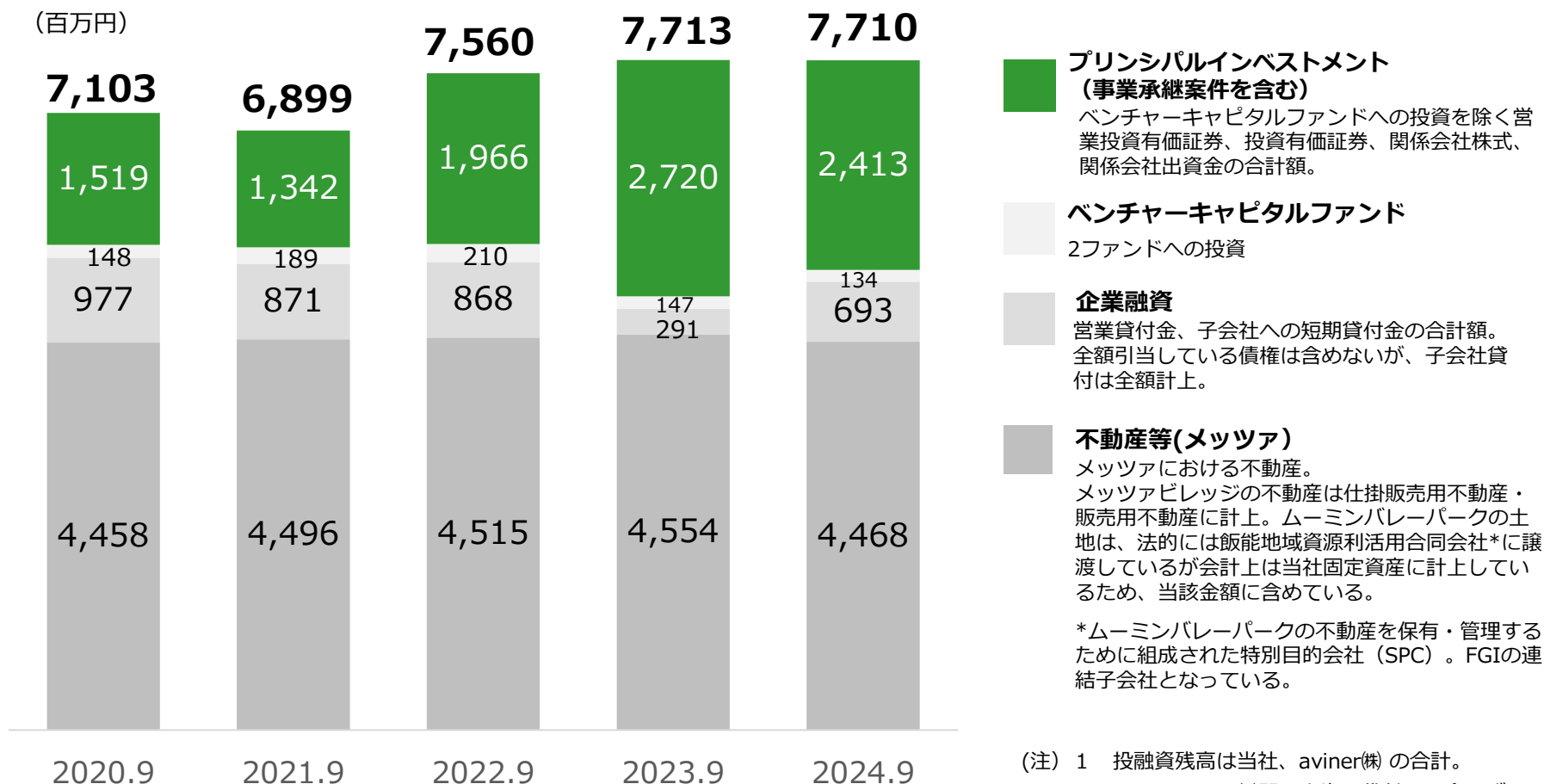
セグメント間の内部取引消去前の数値を使用。



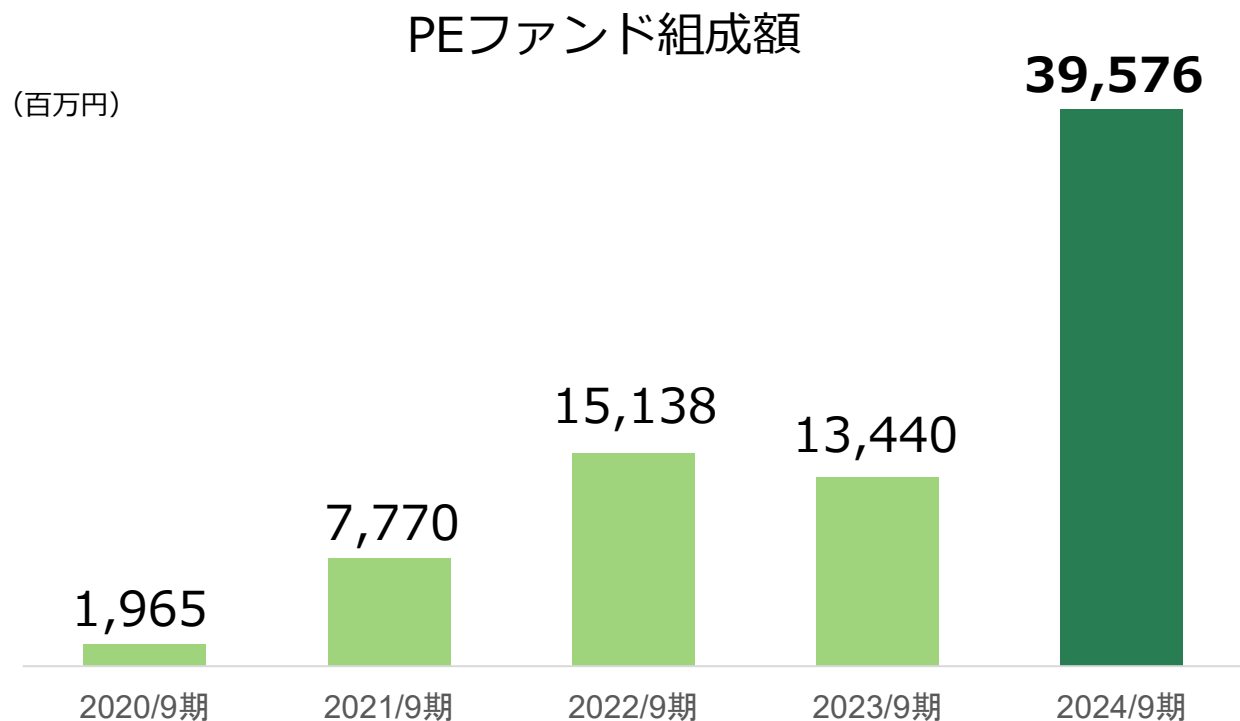
営業利益 (百万円)



事業承継案件への投資に経営資源を配分し、プリンシパルインベストメントが増加基調に。
投資収益の増加が、今後も続く見込み



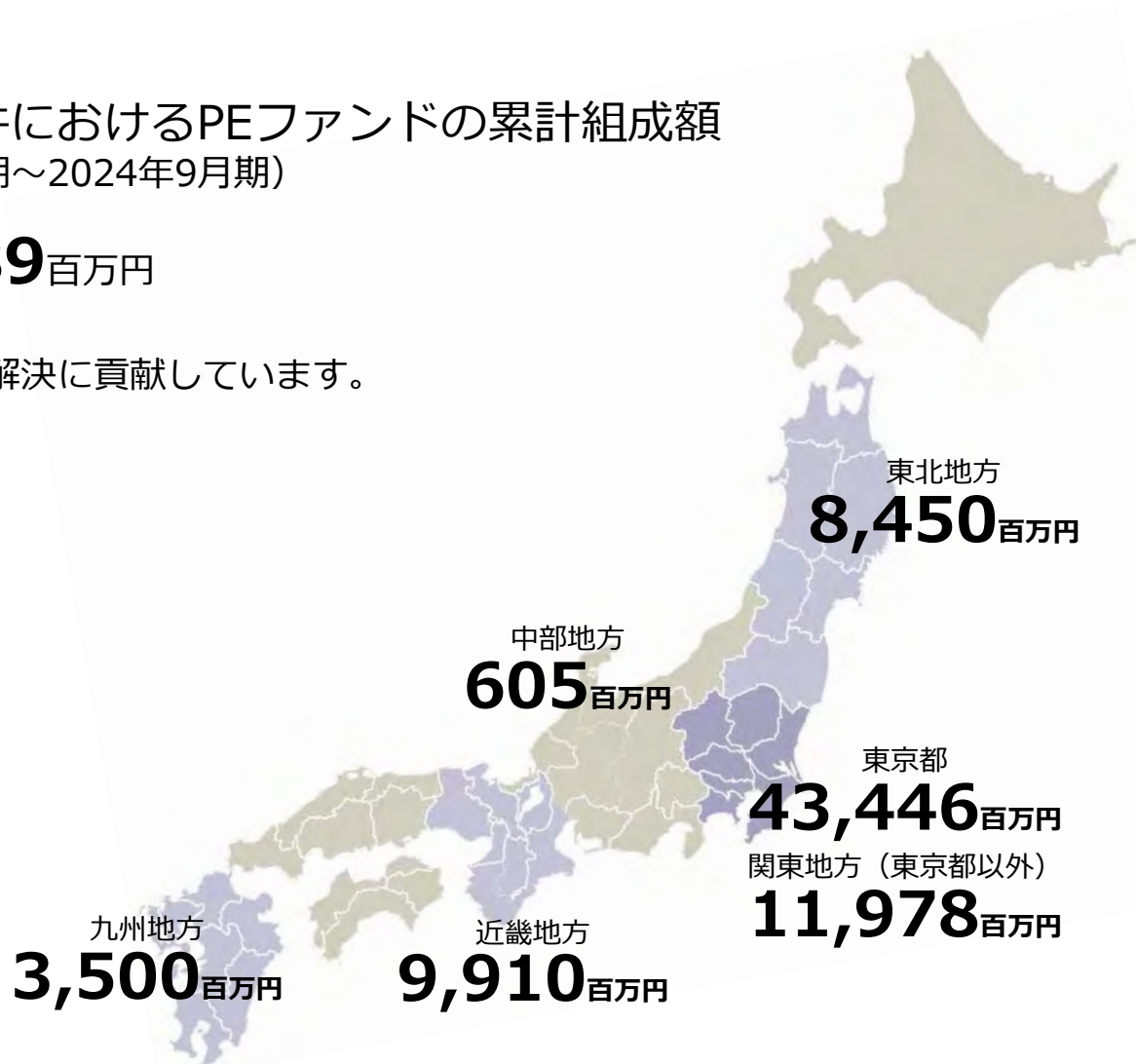
- ・ 事業承継問題を抱える企業の買い手となって課題を解決。
- ・ 当社出資や金融機関のローン等により案件毎に組成したプライベートエクイティ(PE)ファンド（非連結）を通じて投資。第三者へ持分・資産等を売却して投資回収、利益計上。
- ・ 事業承継市場が拡大する中、24/9期のファンド組成額は前期比295%増。今後も高水準の投資を計画。



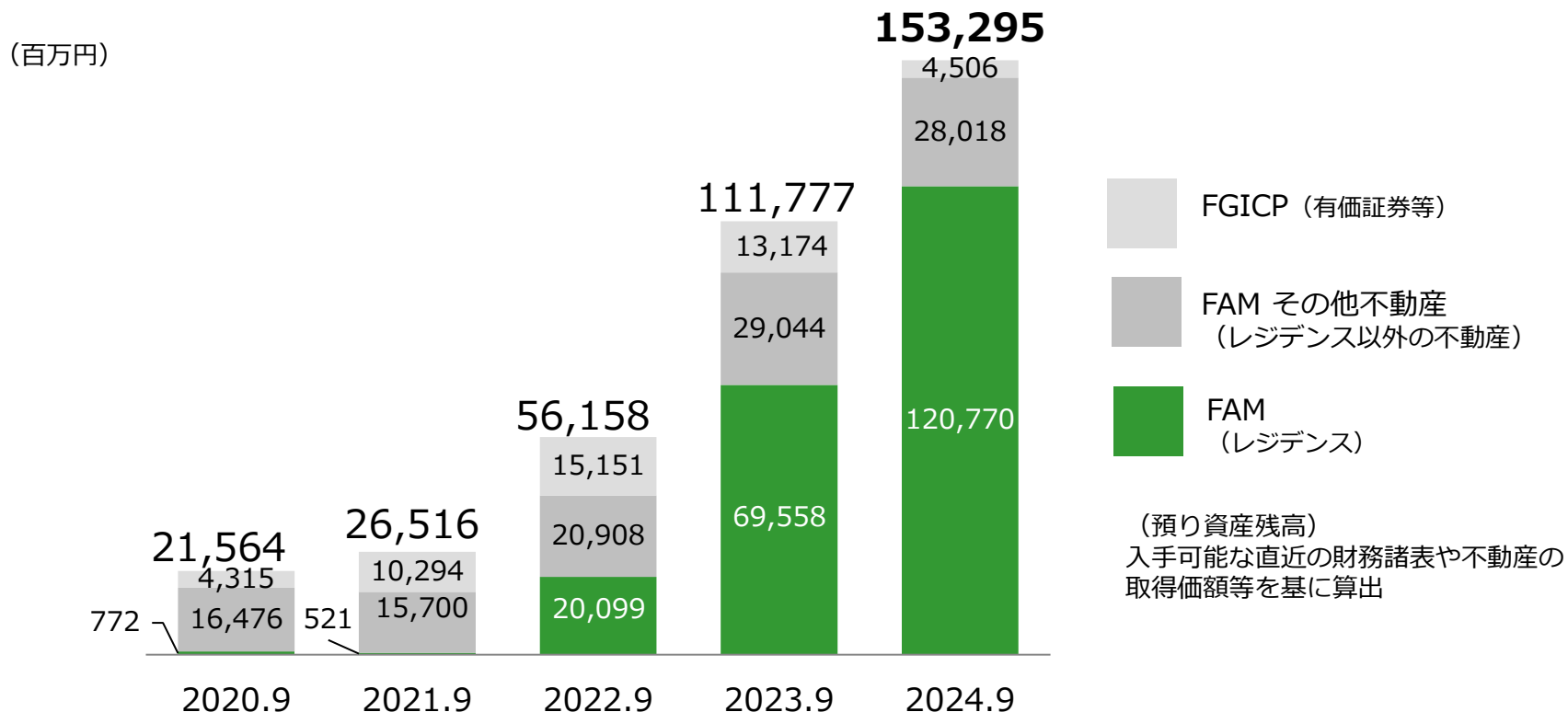
事業承継案件におけるPEファンドの累計組成額 (2020年9月期～2024年9月期)

総額 **77,889**百万円

全国各地の課題解決に貢献しています。



投資家資金を運用する投資運用業務では、低金利と円安を背景として海外機関投資家のレジデンス投資の運用受託が急ピッチで増加。投資は計画通り進捗しているため、今後、増加ペースは落ち着く見込み。



*FAMの投資運用・投資助言とFGICPの投資運用における契約資産の合計です。

フィンテックアセットマネジメント(株) (FAM)

投資運用業、投資助言・代理業（関東財務局長（金商）第2014号）
 総合不動産投資顧問業（総合一第74号）
 不動産特定共同事業（金融庁長官・国土交通大臣第54号）

FGIキャピタル・パートナーズ(株) (FGICP)

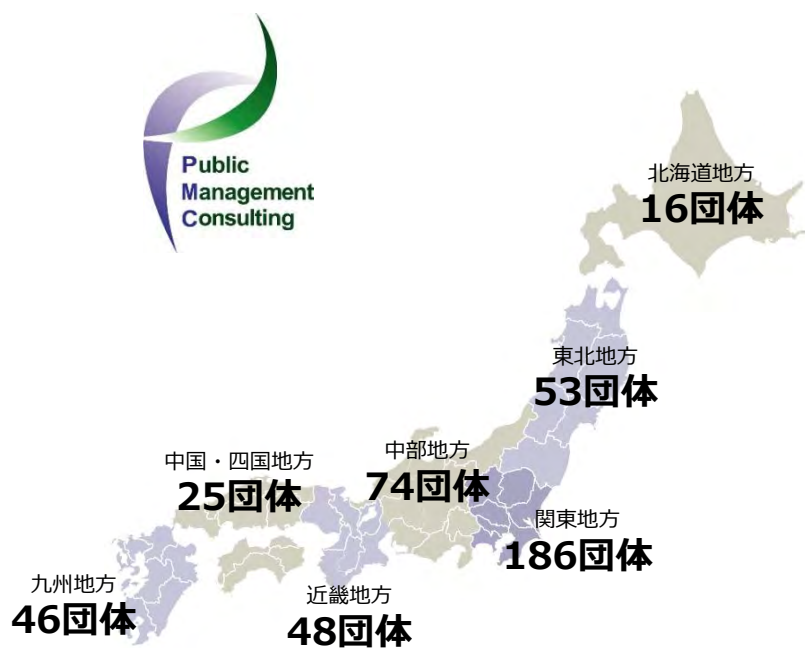
投資運用業、投資助言・代理業
 （関東財務局長（金商）第2175号）

公共コンサルティング事業

地方公共団体の財務書類作成や公共施設等総合管理計画の策定等を支援。

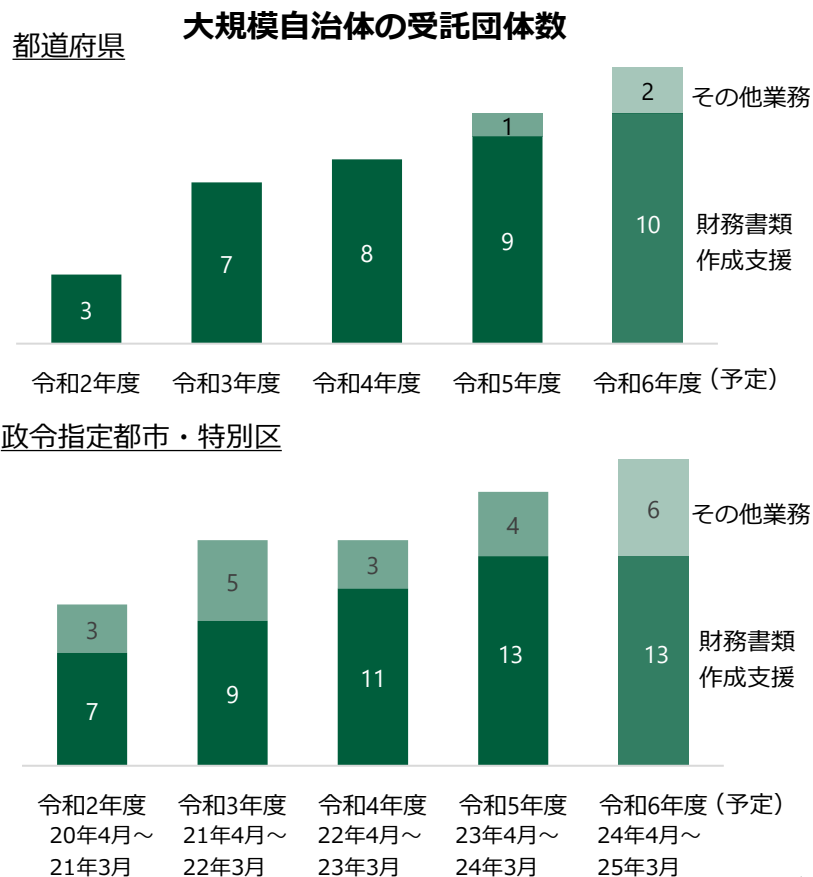
地方公共団体等との累計取引実績は448団体

(2024年9月末現在)



*FGI子会社(株)パブリック・マネジメント・コンサルティング (PMC) の実績

大規模自治体から、財務書類作成支援のほか、公共施設マネジメントや行政計画策定の支援の引き合いが増加。



エンタテインメント・サービス事業

－ メッツァ、ムーミンバレーパークの取り組み －

メッツァについて

メッツァは、埼玉県飯能市に所在
メッツァビレッジと、ムーミンバレーパークで構成



FGIは、北欧のライフスタイルを体験できるメッツァビレッジをアセット投資として、保有・賃貸し、価値向上に取り組んでいます。

レストラン棟



【投資銀行事業】

- ・ 駐車場料金
- ・ テナントからの賃料収入
- ・ 各種イベントの場所貸し

【エンタテインメント・サービス事業】

(子会社(株)メッツァが運営)

- ・ 施設利用料、飲食等
- ・ 貸ポート他



FGIの子会社(株)ムーミン物語が、ムーミンバレーパークを運営しています。

ムーミン谷エリア



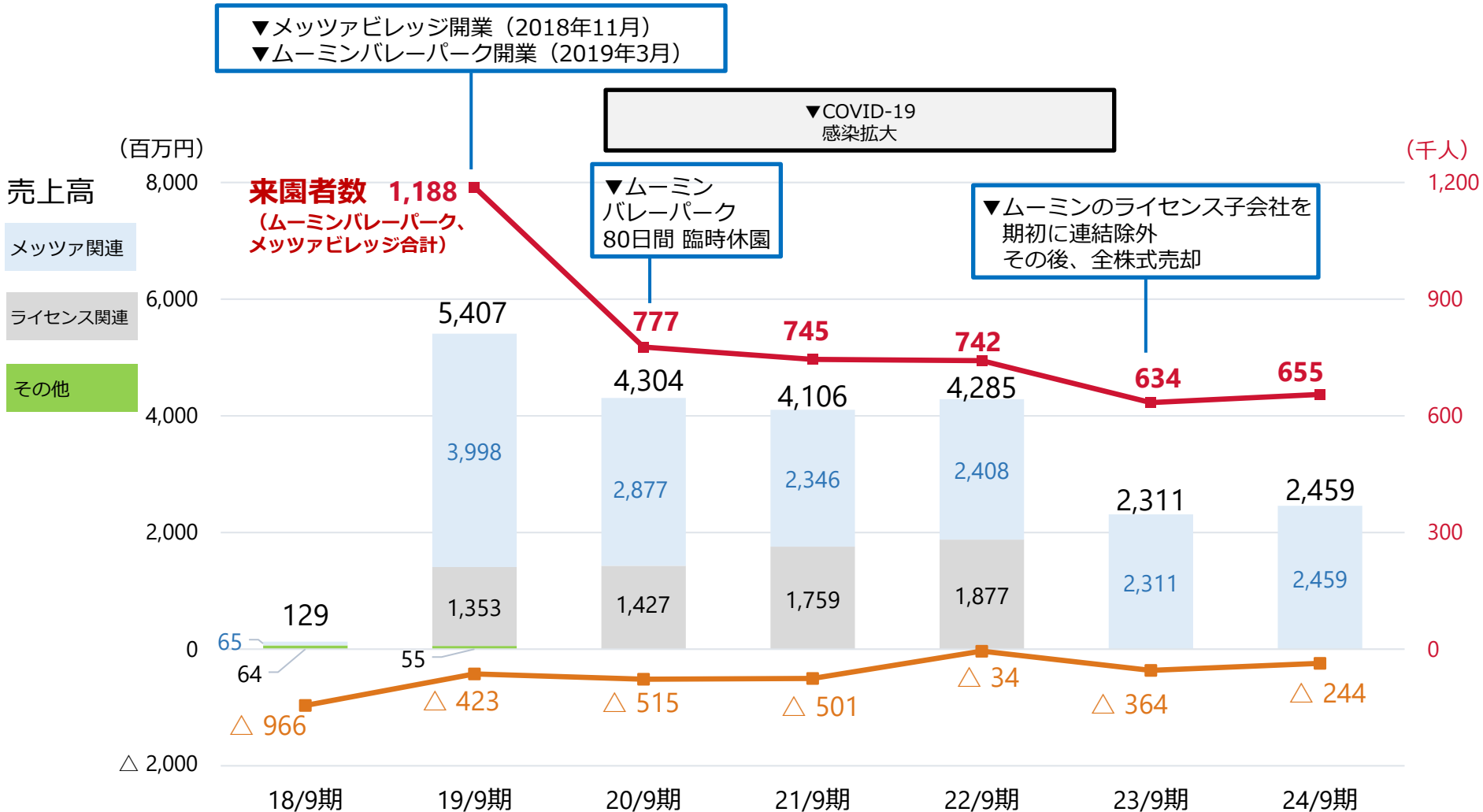
© Moomin Characters™

【エンタテインメント・サービス事業】

- ・ 入園チケット
- ・ 物販、飲食
- ・ スポンサー収入

エンタテインメント・サービス事業の業績

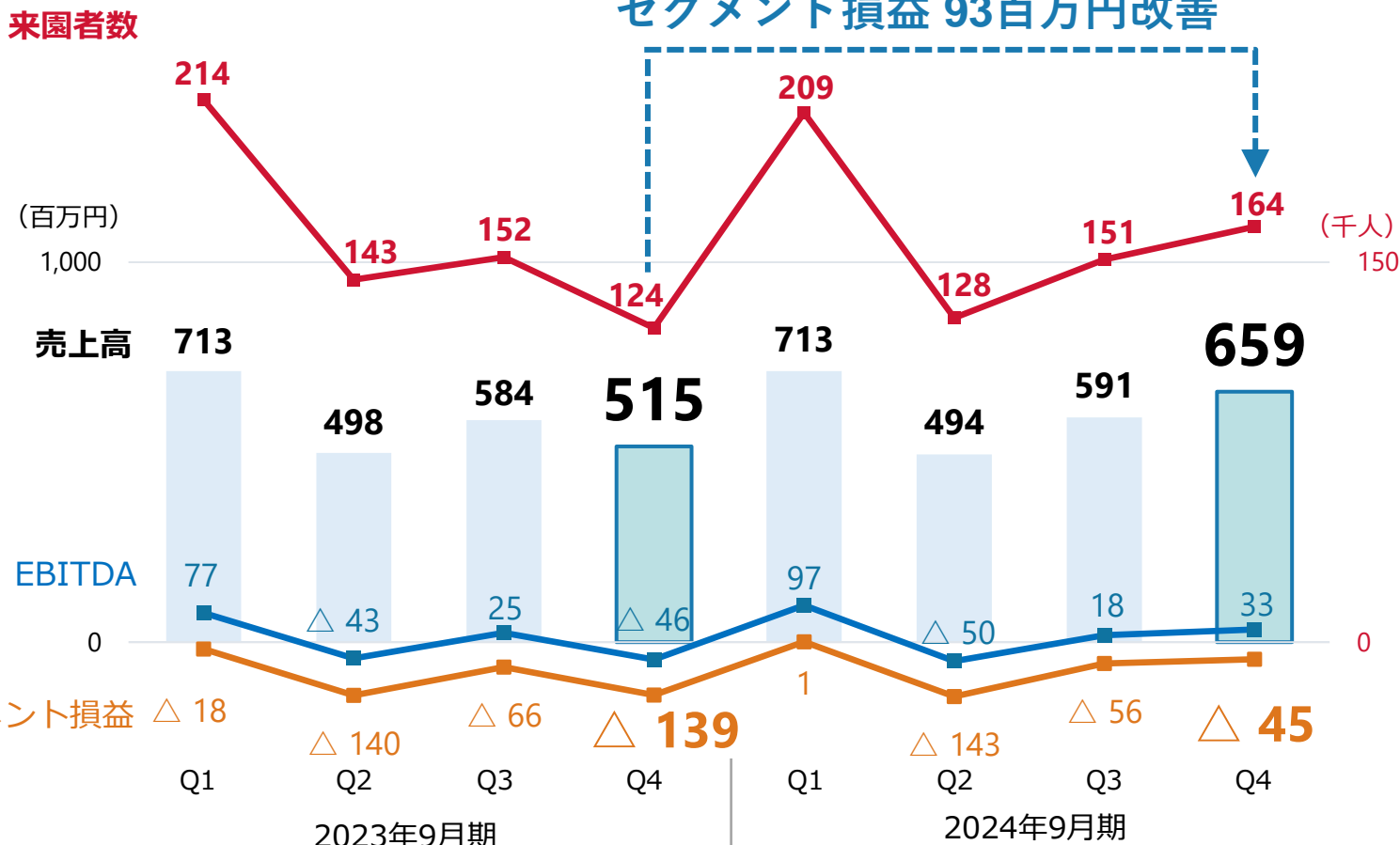
- ・ムーミンバレーパークは19年3月開業の約1年後に、コロナ禍に見舞われ来園者数が減少。
- ・23年7月の関係会社株式売却資金をもとに、コンテンツ増強、プロモーションを行う。



プロモーション強化、コンテンツ増強により、**来園者数が増加に転じる。**
顧客単価上昇とコスト削減も進み、増収、損益改善。

Q4（7-9月期）

来園者数 32%増（4万人増）
売上高 28%増（144百万円増）
セグメント損益 93百万円改善



- (注)1 来園者数は、メッツァビレッジ・ムーミンバレーパークの合計。
- 2 売上高はセグメント間の内部取引消去前の数値を使用。
- 3 EBITDAは、セグメント利益に売上原価、販売費及び一般管理費に含まれる減価償却費及びのれん償却費を足し戻して算出。

こどもを介してファミリー層にアプローチ 中高生も呼び込み、集客力を強化



こども応援キャンペーン（2024/7/27～10/31）

こども当日1デーパス 2,200円 → **500円**。

おとな当日チケット3,600円の**中高生もキャンペーン対象**。

チケット料金改定（2024/11/1）

こども前売1デーパスを 2,000円 から **1,000円へ大幅値下げ**。

おとな料金だった**中高生もこども料金**に。

2025年9月期 業績見通し

5期連続の増益を計画

- ・24/9期にアセット投資の回収がほぼ終了したことから減収となるが、利益率が高いPE投資収益・業務受託（アレンジメント）やその他業務の売上増により、売上総利益は増加。
営業利益以下の段階利益も増加を見込む。
- ・エンタテインメント・サービス事業は、セグメント損益の黒字化を予想。

(単位：百万円)

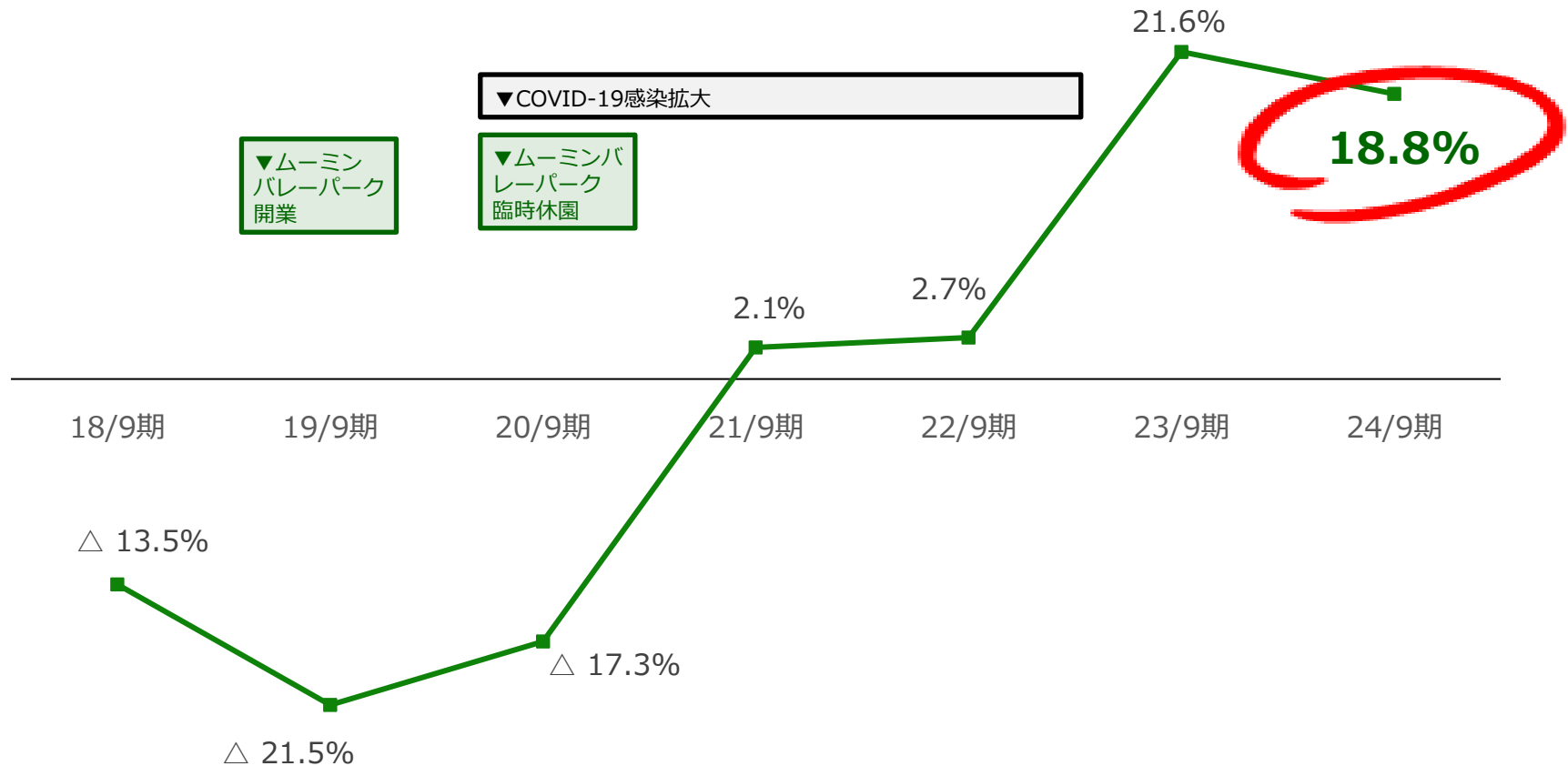
	2024/9期実績	2025/9期予想	増減額	増減率
売上高	13,807	12,300	△1,507	△ 10.9%
営業利益	2,569	3,100	+530	+20.6%
経常利益	2,461	3,000	+538	+21.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,675	2,000	+324	+19.3%
EPS (円)	8.41	10.21	+1.80	—

業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

ROE、株主還元

ROEの推移

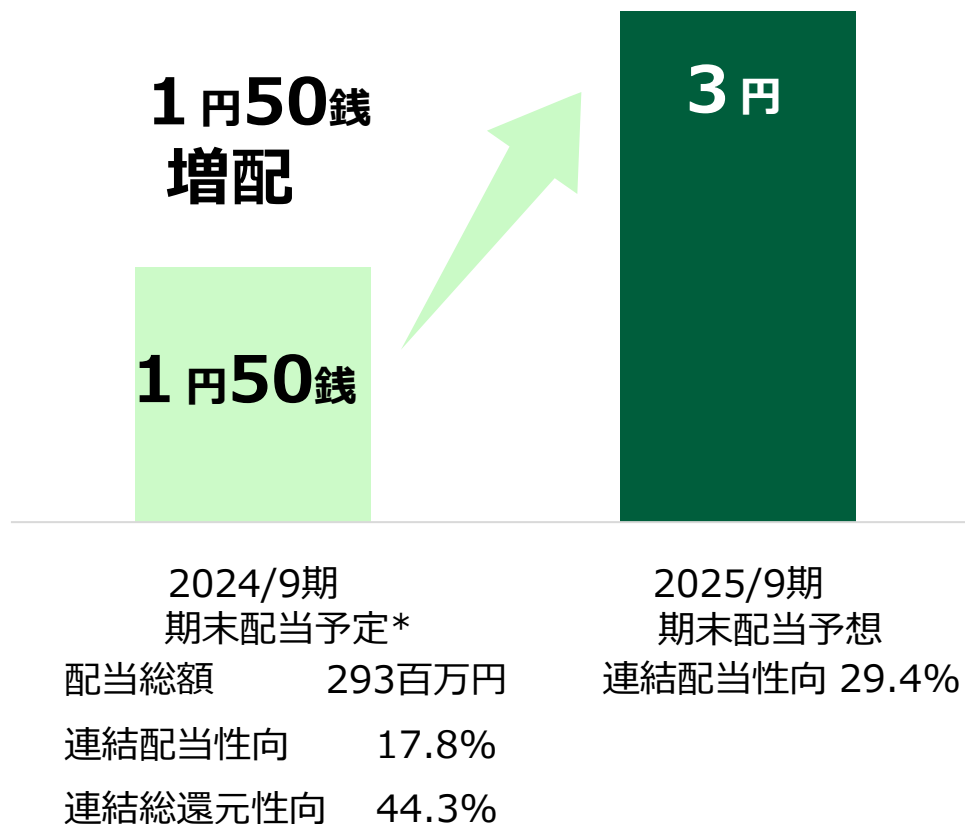
- 2018～20/9期はメッツァ開業準備費用やコロナ禍による損失でROEはマイナスが続いたが、21/9期以降は、プライベートエクイティ投資、アレンジメント等が好調となり、23/9期にROEは大幅に上昇。
- 24/9期は、目標とする20%には届かなかったが、高水準を維持。



2024/9期は復配、2025/9期は増配を計画

配当は、株主の皆様への直接的な利益還元として

ROEなどの資本効率性なども踏まえて、継続的に実施する方針



* 2024/9期の期末配当は定時株主総会で決議予定。

内部留保金は、更なる成長に向けて、収益性の高い投資銀行事業における投融資などに再投資することで株主価値の向上を図る。

2024/9期は、総額448百万円の自己株式の取得を実施

資本効率の向上を図るとともに、経営環境に応じた機動的な資本政策（M&Aでの活用を含む）の遂行や経営幹部向けインセンティブプランへの活用などを目的として自己株式を取得。

今後も、成長投資とのバランスを考慮しつつ、株価を含めた市場環境に応じて機動的に実施する方針。

	24/2/10決議	24/5/10決議	24/8/9決議
取得結果	<p>期間 24/2/19～24/2/21 (約定ベース)</p> <p>株数 1,957,400株 (発行済株式総数（自己株式を除く）の0.97%)</p> <p>金額 149,992,500円</p>	<p>期間 24/5/13～24/6/21 (約定ベース)</p> <p>株数 1,650,000株 (発行済株式総数（自己株式を除く）の0.83%)</p> <p>金額 148,044,400円</p>	<p>期間 24/8/13～24/9/4 (約定ベース)</p> <p>株数 1,848,900株 (発行済株式総数（自己株式を除く）の0.94%)</p> <p>金額 149,995,500円</p>

參考資料

連結貸借対照表

資産の部

23年9月期 24年9月期 増減

	23年9月期	24年9月期	増減
流動資産	12,477,247	14,027,246	1,549,999
1 現金及び預金	2,918,561	5,789,907	2,871,346
2 受取手形・売掛金・契約資産	1,355,231	950,434	△ 404,796
3 営業投資有価証券	2,848,142	1,560,437	△ 1,287,705
営業貸付金	346,365	522,565	176,200
販売用不動産	4,095,967	4,046,834	△ 49,133
商品	160,768	142,275	△ 18,492
その他	883,381	1,119,460	236,078
貸倒引当金	△ 131,170	△ 104,667	26,503
固定資産	6,646,706	6,642,432	△ 4,273
4 有形固定資産	5,530,068	5,260,917	△ 269,150
無形固定資産	131,260	181,418	50,158
5 投資その他の資産	985,377	1,200,096	214,718
資産合計	19,123,953	20,669,679	1,545,725

- 1 PEファンドへの投資で一時的に減少するも、分配金の受領や売掛金の回収等により増加。
- 2 PE業務受託や車両を活用したファンドの業務委託等により売掛金が増加したものの、航空ビジネスに係る売掛金の回収により減少。
- 3 PEファンドからの投資回収や、不動産小口化商品である信託受益権の販売が進捗したことによって減少。
- 4 ムーミンバレーパークの建物、内外装等の減価償却と、既存の展示物等の除却により減少。
- 5 建設業の(株)ピーコンホームサービスの新規連結による差入保証金の計上により増加。
- 6 運転資金及び賃貸資産（ヘリコプター）取得のための借入により増加。
- 7 ムーミンバレーパーク開業時の内外装の動産に係るセール・アンド・リースバックによるリース債務を完済。
- 8 主に不動産小口化商品の販売進捗に伴う子会社SPCの借入返済により減少。
- 9 自己株式を取得。

負債の部

(単位：千円)

23年9月期 24年9月期 増減

	23年9月期	24年9月期	増減
流動負債	7,880,663	8,788,148	907,484
支払手形・買掛金	308,710	241,273	△ 67,436
6 短期借入金	77,954	781,186	703,232
1年内返済予定の長期借入金	6,082,038	5,998,872	△ 83,166
未払法人税等	125,884	326,067	200,183
7 リース債務	149,086	32,914	△ 116,172
賞与引当金	257,626	322,024	64,397
その他	879,363	1,085,810	206,447
固定負債	1,849,970	1,128,982	△ 720,987
8 長期借入金	1,290,817	638,535	△ 652,282
リース債務	50,723	21,074	△ 29,648
繰延税金負債	97,175	22,636	△ 74,538
退職給付に係る負債	126,297	153,433	27,135
その他	284,955	293,302	8,346
負債合計	9,730,633	9,917,131	186,497

純資産の部

株主資本	8,141,924	9,366,630	1,224,705
資本金	5,372,574	5,373,336	761
資本剰余金	974,443	968,668	△ 5,775
利益剰余金	1,794,907	3,470,851	1,675,944
9 自己株式	△ 0	△ 446,226	△ 446,225
その他の包括利益累計額	150,683	164,312	13,629
新株予約権	77,299	103,108	25,809
非支配株主持分	1,023,412	1,118,496	95,084
純資産合計	9,393,319	10,752,548	1,359,228
負債純資産合計	19,123,953	20,669,679	1,545,725

(単位：千円)

	2023年9月期	売上比	2024年9月期	売上比	増減額	増減率		
売上高	1	9,302,325	100.0%	13,807,941	100.0%	4,505,616	48.4%	
売上原価	2	4,191,298	45.1%	6,452,353	46.7%	2,261,055	53.9%	
売上総利益		5,111,026	54.9%	7,355,588	53.3%	2,244,561	43.9%	
販売費及び一般管理費	3	3,767,047	40.5%	4,785,729	34.7%	1,018,681	27.0%	
営業利益		1,343,979	14.4%	2,569,858	18.6%	1,225,879	91.2%	
営業外収益		91,484	1.0%	84,897	0.6%	△ 6,586	△ 7.2%	
営業外費用		158,185	1.7%	193,572	1.4%	35,386	22.4%	
経常利益		1,277,278	13.7%	2,461,184	17.8%	1,183,906	92.7%	
特別利益	4	579,250	6.2%	241,943	1.8%	△ 337,307	△ 58.2%	
特別損失		32,370	0.3%	5	276,242	2.0%	243,871	753.4%
税金等調整前当期純利益		1,824,158	19.6%	2,426,886	17.6%	602,727	33.0%	
法人税等合計		180,450	1.9%	542,201	3.9%	361,751	200.5%	
当期純利益		1,643,708	17.7%	1,884,684	13.6%	240,976	14.7%	
非支配株主に帰属する当期純利益		40,278	0.4%	208,739	1.5%	168,461	418.2%	
親会社株主に帰属する当期純利益		1,603,429	17.2%	1,675,944	12.1%	72,514	4.5%	

1 PE投資収益・業務受託（アレンジメント）、航空ビジネスなどの好調の他、販売用不動産の売却もあり、増加。

2 航空ビジネスや、不動産小口化商品等の販売に伴い増加。

3 当社及びフィンテックアセットマネジメント(株)において、人事評価・報酬制度を改訂。ベース給与・各種手当も2023年12月分から見直す。他のグループ会社も人員増強などを推進し、子会社も増加しているため、人件費が増加。支払手数料も、事業拡大に伴って増加して販管費は前期比27.0%増加。

4 前期は、持分法適用関連会社の(株)ライセンス・アンド・ブランド株式売却による関係会社株式売却益386百万円と、(株)トリニティジャパンの子会社化に伴う負ののれん発生益190百万円を計上。
当期は、新規連結した(株)ピーコンホームサービスの差入保証金について、Q2に暫定的な会計処理を行い負ののれん発生益66百万円を計上したが、Q4に将来の瑕疵担保責任の発生可能性を見直して、負ののれん発生益は174百万円増加の241百万円で確定。

5 ムーミンバレーパークで新エリア開設など一部をリニューアルし、既存の展示物等を除去したこと等に伴い固定資産除却損276百万円を計上。

(単位：千円)

	23年9月期	24年9月期	増減額
営業CF	615,263	4,055,296	3,440,032
税引前当期純利益	1,824,158	2,426,886	602,727
減価償却費	444,758	442,871	△ 1,887
のれん償却額	22,608	25,621	3,012
売上債権の増減	△ 335,946	461,229	797,176
営業投資有価証券の増減	△ 331,333	1,239,870	1,571,203
棚卸資産の増減	△ 147,174	246,775	393,950
仕入債務の増減	47,406	△ 76,971	△ 124,377
法人税等の支払額	△ 402,189	△ 742,746	△ 340,557
その他	△ 507,025	31,759	538,784
投資CF	766,647	△ 547,689	△ 1,314,336
関係会社株式の売却	680,000	—	△ 680,000
固定資産取得の支出	△ 62,106	△ 895,784	△ 833,678
固定資産の売却	—	435,348	435,348
担保預金の差入による支出	△ 50,000	△ 65,000	△ 15,000
関係会社株式の取得	△ 154,774	—	154,774
連結範囲変更を伴う 子会社株式の取得	280,137	61,990	△ 218,146
その他	73,391	△ 84,243	△ 157,634

	23年9月期	24年9月期	増減額
財務CF	△ 538,921	△ 790,506	△ 251,585
短期借入金を増減	77,954	703,232	625,278
長期借入れによる収入	273,500	895,469	621,969
長期借入金の返済	△ 514,237	△ 1,630,918	△ 1,116,680
非支配株主への配当	△ 109,912	△ 162,920	△ 53,008
自己株式の増減額	—	△ 448,032	△ 448,032
ファイナンス・リース債務の返済	△ 266,511	△ 149,473	117,038
その他	287	2,137	1,849

現金等の換算差額	44,175	89,244	45,069
現金等の増減額	887,165	2,806,345	1,919,179
現金等の期首残高	2,375,927	2,868,560	492,633
連結除外に伴う現金等の減少額	△ 394,532	—	394,532
現金等の期末残高	2,868,560	5,674,906	2,806,345

1

税引前当期純利益の増加や、PE投資の回収や不動産小口化商品の信託受益権の売却による営業投資有価証券の減少により、営業キャッシュフローが増加。

2

メツアにおける太陽光発電設備の設置や、航空資産の取得、ムーミンバレーパークのコンテンツ新設・更新への支出により減少。

3

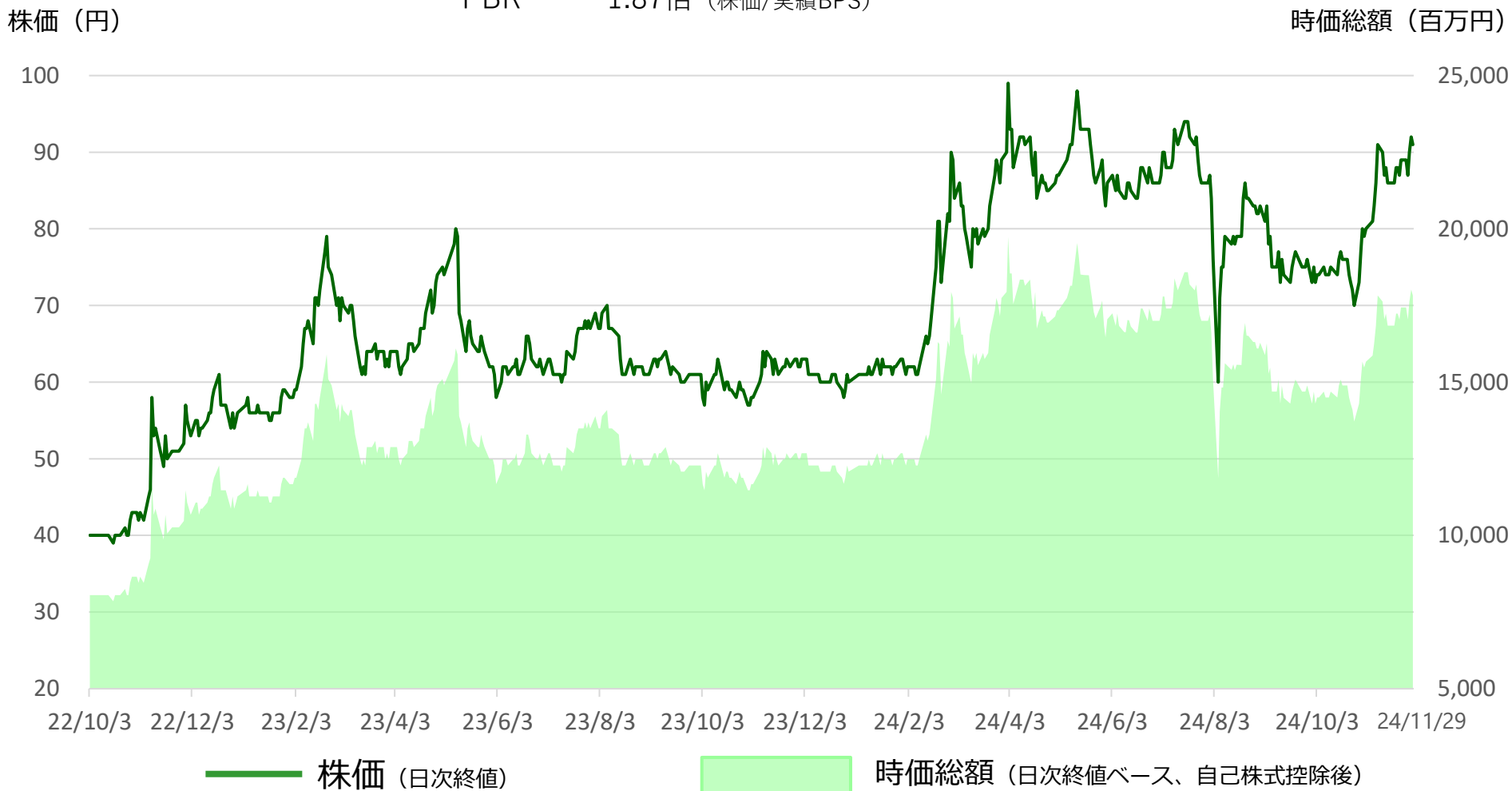
不動産小口化商品を組成した子会社SPCの借入返済などにより減少。

4

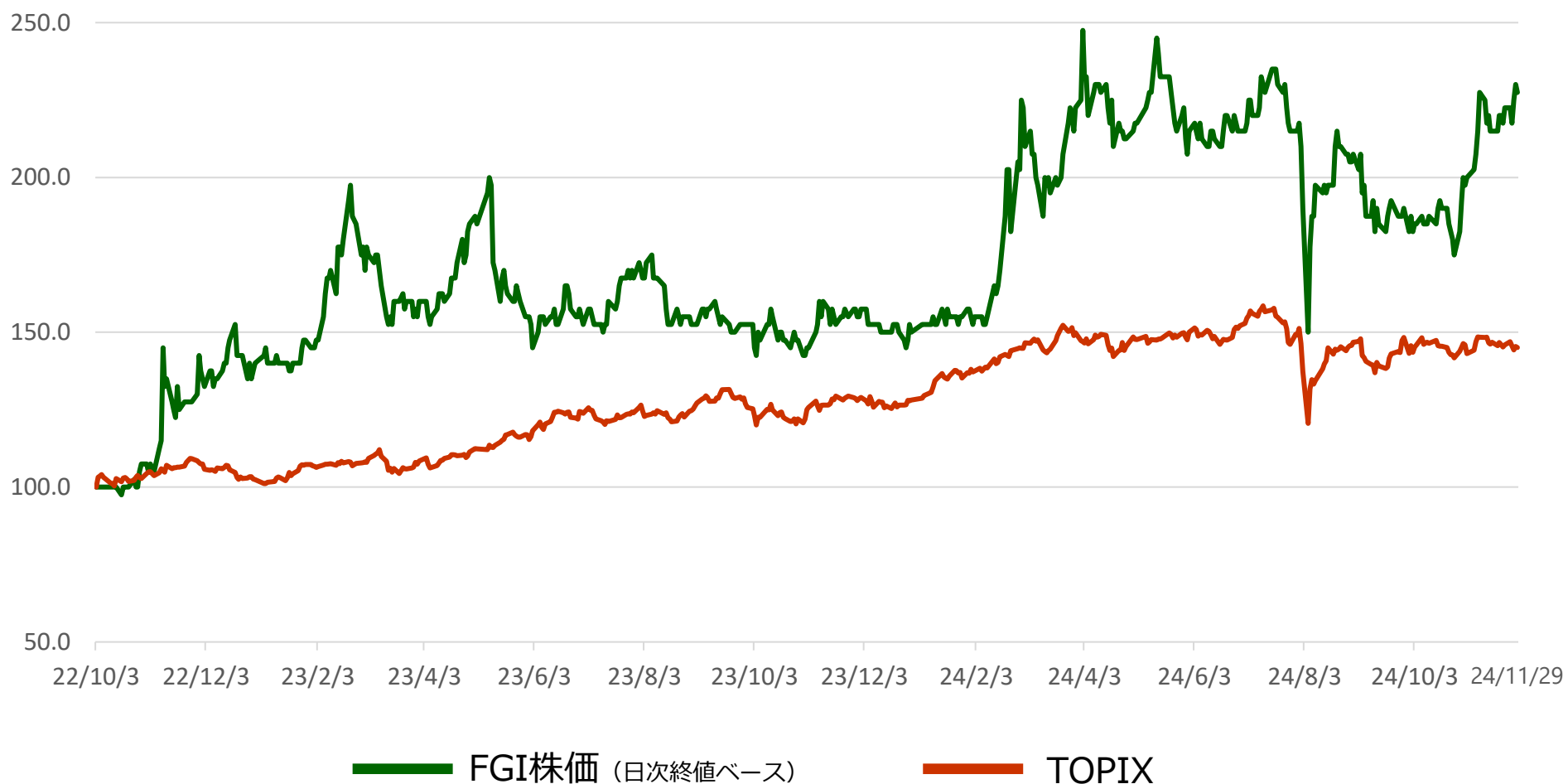
ムーミンバレーパーク開業時の内外装の動産に係るセール・アンド・リースバックによるリース債務を期中に完済。

		2018年 9月期	2019年 9月期	2020年 9月期	2021年 9月期	2022年 9月期	2023年 9月期	2024年 9月期
売上高	(百万円)	3,689	9,175	6,841	8,107	9,301	9,302	13,807
売上総利益	(百万円)	2,261	2,944	2,313	3,370	3,990	5,111	7,355
営業利益又は営業損失(△)	(百万円)	△ 1,072	△ 1,664	△ 992	178	587	1,343	2,569
経常利益又は経常損失(△)	(百万円)	△ 1,227	△ 1,850	△ 1,135	115	540	1,277	2,461
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△)	(百万円)	△ 820	△ 1,586	△ 1,186	130	176	1,603	1,675
純資産	(百万円)	8,551	8,873	7,304	7,439	7,842	9,393	10,752
総資産	(百万円)	14,016	19,025	16,583	16,457	17,933	19,123	20,669
1株当たり純資産	(円)	39.31	37.03	31.12	31.47	32.72	41.19	48.66
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△)	(円)	△ 4.79	△ 8.08	△ 5.90	0.65	0.88	7.97	8.41
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	(円)	-	-	-	0.65	0.87	7.94	8.36
自己資本比率	(%)	52.2	39.1	37.7	38.5	36.7	43.4	46.1
自己資本利益率	(%)	△ 13.5	△ 21.5	△ 17.3	2.1	2.7	21.6	18.8
株価収益率	(倍)	-	-	-	86.1	44.6	7.7	8.7
営業活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	△ 2,978	△ 2,604	680	747	△ 701	615	4,055
投資活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	△ 2,008	△ 4,543	△ 282	△ 173	△ 141	766	△ 547
財務活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	5,771	5,710	△ 767	△ 360	802	△ 538	△ 790
現金及び現金同等物の期末残高	(百万円)	3,847	2,513	2,142	2,379	2,375	2,868	5,674
従業員数(連結) (外、平均臨時雇用者数)	(人)	156(47)	167(262)	156(224)	149(209)	176(144)	153(169)	168(200)
従業員数(単体) (外、平均臨時雇用者数)	(人)	38(5)	39(5)	28(6)	28(4)	30(4)	26(6)	48(7)

2024/11/29
 終値 91円
 時価総額 17,825百万円 (自己株式控除後)
 PER 8.91倍 (株価/予想EPS)
 PBR 1.87倍 (株価/実績BPS)



2年前 (2022年10月3日) を100としてTOPIXと比較
FGI株価はアウトパフォーム



商号	フィンテック グローバル株式会社
本社	東京都品川区上大崎3-1-1 目黒セントラルスクエア15階
設立年月日	1994年12月7日
代表者	代表取締役社長 玉井 信光
証券コード	東証スタンダード市場 (8789)
上場年月	2005年6月 東証マザーズ上場 2021年2月 東証第二部に市場変更 2022年4月 東証スタンダード市場に移行
事業内容	①投資銀行業務 ②投資業務 ③投資運用業務 ④地域課題ソリューション
連結従業員数	168名 (2024年9月30日現在、臨時従業員含まず)



フィンテック / FinTech (登録5113746)・FinTech Global (登録5811521)・フィンテックグローバル (登録5811522)・FGI (登録5113748)は、フィンテック グローバル株式会社の登録商標です。

免責条項

本資料は、当社およびFGIグループに関する情報の提供を目的としたものであり、有価証券にかかる売買、金融商品取引に係る契約等いかなる商品の勧誘をするものではありません。

本資料に記載されている、各種資料・文書には、当社またはFGIグループに関連する見通し、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価などといった、将来に関する記述をはじめとする歴史的事実以外の事実を記載しているものが含まれていることがあります。これらの歴史的事実以外の事実（以下、「将来情報」ということがあります）の記載は、当社またはFGIグループが入手した情報に基づく、当該資料・文書の日付（または当該資料・文書に別途明示された日付）時点における予測、期待、想定、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。また、見通し・目標等を策定するためには、過去に確定し正確に認識された事実以外に、見通し・目標設定等を行うために不可欠となる一定の前提（仮定）を使用しています。これらの記述ないし事実または前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もありません。したがって、これらの記述ないし事実または前提（仮定）が、客観的に不正確であり、将来実現しないという可能性があります。その原因となりうるリスクや要因は多数あります。将来情報は、将来発生する事象、リスク、不確実性を内包する要因を含んでおり、そうした前提は、当社またはFGIグループの実際の業務・業績に著しい悪影響を及ぼす可能性があります。かかる要因には、日本国、米国、アジアあるいはその他の国・地域における経済状況の悪化、不動産価値または株価の下落、FGIグループの貸出先の産業分野における企業破綻の増加やその他問題の発生、当社の経営統合およびコスト削減期待の実現の困難化または遅延、競争の激化、FGIグループの業務に関わる法令規則の改正、FGIグループにとって不利益となる日本国経済その他の政策の変更が含まれます。

なお、将来情報に関する記述を含む資料・文書が本資料に記載されている間においても、当該将来情報は上記のとおり当該資料・文書の日付（またはそこに別途明記された日付）時点のものであり、当社は、それらの情報を最新のものに随時更新するという義務も方針も有しておりません。

FGI

FinTech Global Incorporated

The firm of innovative financing

フィンテック グローバル株式会社

<https://www.fgi.co.jp/>